

景況感は製造業は好転幅縮小、非製造業は横ばい

目 次

	ページ
調査要領	1
1. 概 況 -----	2
2. 業 況 判 断 製造業は好転幅縮小、非製造業は横ばい	3
3. 売 上 製造業は悪化、非製造業は改善	3
4. 受 注 製造業は悪化、建設業は改善	4
5. 経 常 利 益 製造業は悪化、非製造業は横ばい	4
6. 在 庫 製品在庫、商品在庫とも過剰感に転じた	4
7. 販売価格・仕入価格 販売価格は横ばい、仕入価格は上昇幅縮小	5
8. 資金繰り・借入金残高 資金繰りは製造業、非製造業とも悪化	5
9. 雇 用 製造業は過剰感上昇、非製造業は過剰感低下	6
10. 設 備 投 資 製造業、非製造業とも微増 補修・更新が主	6
11. 経 営 上 の 問 題 点 「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」、「過当競争」が上位	7

調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため
- 調査対象** 県内企業 207 社、回答企業 98 社、回答率 47.3%
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答
- 調査対象期間** 平成 22 年 7 ~ 9 月実績及び平成 22 年 10 ~ 12 月予想
- 調査時点** 平成 22 年 10 月中旬 ~ 下旬

業種別回答企業数

		回答企業数	構 成 比	うち中小企業	構 成 比
製 造 業	食 料 品	9	9.2	9	100.0
	織 維 ・ 縫 製	3	3.1	3	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	2	2.0	2	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	6	6.1	6	100.0
	窯 業 ・ 土 石	5	5.1	5	100.0
	金 属 ・ 機 械	12	12.2	11	91.7
	電 気 機 械	12	12.2	11	91.7
	印 刷 ・ そ の 他	7	7.1	7	100.0
計		56	57.1	54	96.4
非 製 造 業	建 設 業	10	10.2	9	90.0
	卸 売 業	16	16.3	16	100.0
	小 売 業	8	8.2	3	37.5
	運 輸 業	3	3.1	3	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	5	5.1	5	100.0
計		42	42.9	36	85.7
全 部 門 合 計		98	100.0	90	91.8

注：中小企業の範囲

製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業

卸 売 業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業

小 売 業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業

サ ー ビ ス 業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概況.....県内景況感は製造業が好転幅縮小、非製造業は横ばい

鳥取県企業動向調査によると、平成22年7～9月の「自社業況の総合判断」は、前期(4～6月)に比べ、製造業では電気機械で好転幅が縮小し、非製造業では卸売業と運輸業で悪化幅が拡大したことなどから、全産業では0.5と前期(+3.0)よりも3.5ポイント低下し、2四半期ぶりに悪化に転じた。また、前回調査時(7月)の7～9月予想(+2.0)よりも2.5ポイント低下した。

先行き10～12月の景況感は、製造業では金属・機械と電気機械で好転幅が縮小し、非製造業では卸・小売業で悪化幅が拡大することなどから、全産業では5.5と5.0ポイント悪化幅が拡大する見込みである。

1 業種別の景況

製造業の景況感は、前期比6.5ポイント好転幅が縮小したが、3四半期連続の好転となった。

(+13.0 +6.5)

非製造業の景況感は、前期とほぼ同水準で、54四半期連続の悪化となった。

(9.0 9.5)

2 売上高の景況

売上高のBSIは、製造業では、食料品と窯業・土石で減少に転じたことなどから増加幅が縮小し、非製造業では、建設業や旅館・ホテル、運輸業で減少幅が縮小したことから減少幅が縮小した。全産業では、前期比2.0ポイント増加幅が縮小した。(+6.0 +4.0)

3 受注高の景況

受注高のBSIは、製造業では、窯業・土石で減少に

転じたことなどから増加幅が縮小し、建設業では減少幅が縮小した。全産業では、前期比4.5ポイント増加幅が縮小した。(+12.0 +7.5)

4 経常利益の景況

経常利益のBSIは、製造業では電気機械で増加幅が縮小したことなどから、増加幅が縮小した。非製造業では卸・小売業等で減少幅が拡大したが、運輸業等で減少幅が縮小したことなどから、前期とほぼ同水準であった。全産業でも、前期とほぼ同水準であった。(2.5 3.0)

5 販売価格、仕入価格の景況

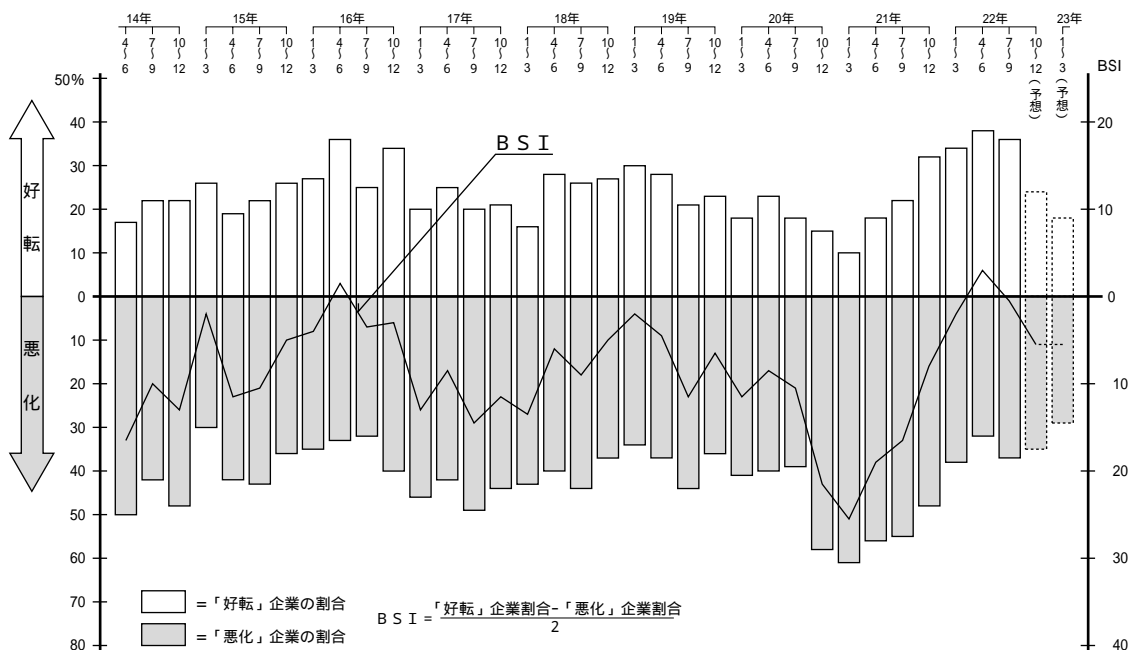
販売価格のBSIは、製造業では、金属・機械と食料品で低下幅が縮小したことなどから低下幅が縮小し、非製造業では、卸・小売業で低下幅が拡大したことなどから低下幅が拡大した。全産業では、前期とほぼ同水準であった。(10.5 11.0)

仕入価格のBSIは、製造業では、電気機械で低下に転じたことなどから上昇幅が縮小し、非製造業では、建設業と卸・小売業で上昇幅が縮小したことなどから上昇幅が縮小した。全産業では、前期比3.5ポイント上昇幅が縮小した。(+10.5 +7.0)

6 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目選択)についての上位項目(全産業)は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の52%と最も多く、次いで「先行き見通し難」が30%、「過当競争」が26%、「販売価格の低下」が24%、「仕入価格の上昇」と「人件費の増加」がともに11%となった。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断.....製造業は好転幅縮小、非製造業は横ばい

「自社業況の総合判断」BSI 「(好転の割合 - 悪化の割合) ÷ 2」

22年7～9月: 0.5と4～6月(+3.0)よりも3.5ポイント、前回(7月)調査の先行き予想(+2.0)よりも2.5ポイント低下し、悪化に転じた。

22年10～12月: 5.5と5.0ポイント悪化幅が拡大する見込み。

23年1～3月: 5.5と同水準の見込み。

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて、経営者の判断を示すもの

製造業のBSI

22年7～9月: 金属・機械と印刷・その他で好転幅が拡大したものの、電気機械で好転幅が縮小し、窯業・土石で悪化に転じたことなどから、+6.5と4～6月(+13.0)よりも6.5ポイント好転幅が縮小した。

22年10～12月: 食料品で好転し、繊維・縫製で悪化

幅が縮小するものの、金属・機械と電気機械で好転幅が縮小することなどから、1.0と悪化に転じる見込み。

23年1～3月: 窯業・土石と紙・紙加工品で悪化幅が縮小するものの、印刷・その他と食料品等で好転幅が縮小することなどから、1.0と同水準の見込み。

非製造業のBSI

22年7～9月: 旅館・ホテルで好転し、小売業等で悪化幅が縮小したものの、卸売業と運輸業で悪化幅が拡大したことから、9.5と1～3月(9.0)とほぼ同水準であった。

22年10～12月: 建設業で悪化幅が縮小するものの、卸・小売業で悪化幅が拡大することから、12.0と2.5ポイント悪化幅が拡大する見込み。

23年1～3月: 運輸業で悪化幅が縮小するものの、旅館・ホテルで好転幅が縮小することなどから、12.5とほぼ同水準の見込み。

図 - 2 業況総合判断 (製造業)

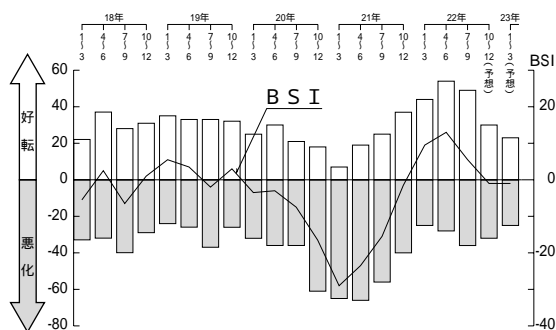
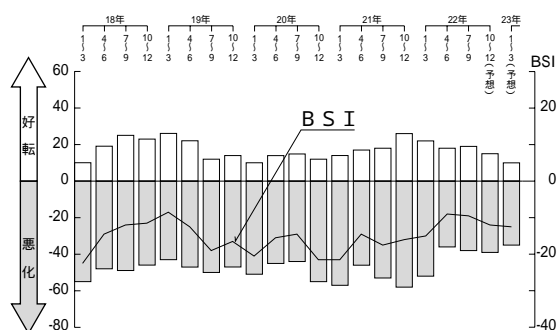


図 - 3 業況総合判断 (非製造業)



3 売上.....製造業は悪化、非製造業は改善

製造業の売上高BSI

22年7～9月: 金属・機械と印刷・その他で増加幅が拡大したものの、食料品と窯業・土石で減少に転じたことなどから、+7.0と4～6月(+15.0)よりも8.0ポイント増加幅が縮小した。

22年10～12月: 食料品で増加に転じるものの、金属・機械と電気機械で増加幅が縮小することなどから、+2.0と5.0ポイント増加幅が縮小する見込み。

非製造業の売上高BSI

22年7～9月: 小売業で増加幅が縮小したが、建設業や旅館・ホテル、運輸業で減少幅が縮小したことから、4～6月の6.0から±0.0に減少幅が縮小した。

22年10～12月: 旅館・ホテルで増加幅が拡大するものの、卸売業で減少幅が拡大し、小売業で減少に転じることから、6.5と減少に転じる見込み。

売上高にかかる回答の集計(回答企業の加重平均)

全産業(42社)

22年7～9月実績: 前年同期比+8.1%

22年10～12月予想: 同+5.2%

製造業(25社)

22年7～9月: 電気機械や金属製品等で増加したことから、同+16.7%だった。

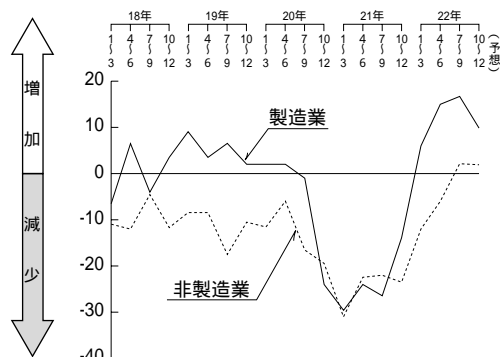
22年10～12月: 電気機械等で増加することから、同+9.8%の見込み。

非製造業(17社)

22年7～9月: 5業種すべてで増加したことから、同+2.2%だった。

22年10～12月: 5業種すべてで増加することから、同+1.9%の見込み。

図 - 4 売上高のBSI



4 受注.....製造業は悪化、建設業は改善

製造業の受注高BSI

22年7～9月：印刷・その他で増加に転じたものの、窯業・土石で減少に転じ、電気機械で増加幅が縮小したことなどから、+10.0と4～6月(+16.0)よりも6.0ポイント増加幅が縮小した。

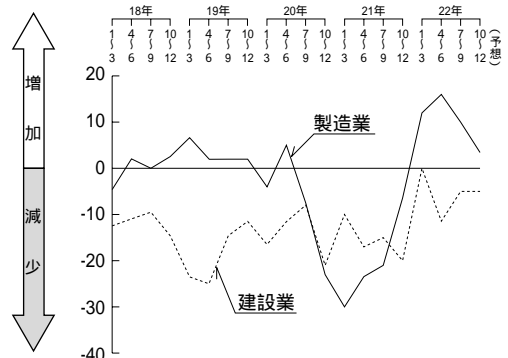
22年10～12月：食料品で増加に転じるものの、金属・機械と電気機械で増加幅が縮小することなどから、+3.5と6.5ポイント増加幅が縮小する見込み。

建設業の受注高BSI

22年7～9月：5.0と4～6月(11.5)よりも6.5ポイント減少幅が縮小した。

22年10～12月：5.0と同水準の見込み。

図 - 5 受注額の B S I



5 経常利益.....製造業は悪化、非製造業は横ばい

製造業の経常利益BSI

22年7～9月：紙・紙加工品で増加に転じ、金属・機械等で増加幅が拡大したものの、電気機械で増加幅が縮小し、窯業・土石で減少に転じたことなどから、+5.5と4～6月(+7.0)よりも1.5ポイント増加幅が縮小した。

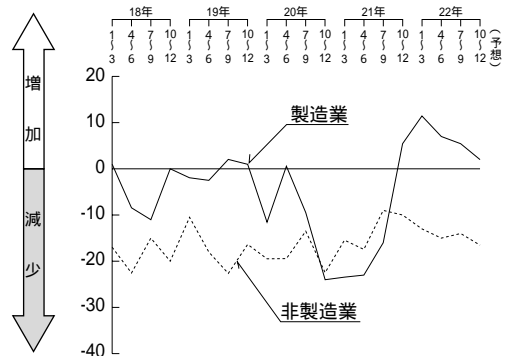
22年10～12月：食料品で増加に転じるものの、金属・機械等で増加幅が縮小することから、+2.0と3.5ポイント増加幅が縮小する見込み。

非製造業の経常利益BSI

22年7～9月：卸・小売業と旅館・ホテルで減少幅が拡大したが、運輸業と建設業で減少幅が縮小したことから、14.0と4～6月(15.0)とほぼ同水準であった。

22年10～12月：旅館・ホテルで減少幅が縮小するものの、卸・小売業で減少幅が拡大することから、16.5と2.5ポイント減少幅が拡大する見込み。

図 - 6 経常利益の B S I



6 在庫.....製品在庫、商品在庫とも過剰感に転じた

製品在庫BSI「(不足 - 過剰)÷2」

22年7～9月：印刷・その他で不足感が上昇したものの、繊維・縫製等で不足感が低下し、食料品で過剰感に転じたことから、1.0と4～6月(+3.0)よりも4.0ポイント悪化し、過剰感に転じた。

22年10～12月：木材・木製品と電気機械で過剰感に転じることなどから、2.5と過剰感が上昇する見込み。

商品在庫BSI

22年7～9月：卸売業で過剰感に転じたことから、10.0と4～6月(±0.0)よりも10.0ポイント悪化し、過剰感に転じた。

22年10～12月：卸売業で過剰感が低下することから7.5と2.5ポイント過剰感が低下する見込み。

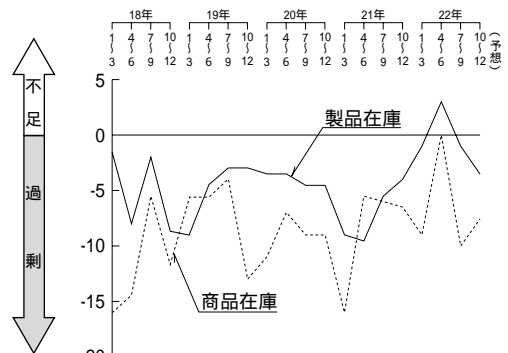
製造業の原材料在庫BSI

22年7～9月：金属・機械で不足感に転じたことなどから、+2.5と4～6月(3.0)よりも5.5ポイント改善し、不足感に転じた。

22年10～12月：電気機械と紙・紙加工品で不足感が

上昇することから、+4.0と1.5ポイント不足感が上昇する見込み。

図 - 7 製品・商品在庫の B S I



7 販売価格・仕入価格.....販売価格は横ばい、仕入価格は上昇幅縮小

販売価格BSI「(上昇 - 低下) ÷ 2」

22年7～9月: 11.0と4～6月(10.5)とほぼ同水準であった。

22年10～12月: 14.0と3.0ポイント低下幅が拡大する見込み。

製造業の販売価格BSI

22年7～9月:印刷・その他や紙・紙加工品等で低下に転じるなどしたが、金属・機械と食料品で低下幅が縮小したことから、13.5と4～6月(14.0)とほぼ同水準であった。

22年10～12月:金属・機械や電気機械、木材・木製品で低下幅が拡大することから、 20.0と6.5ポイント低下幅が拡大する見込み。

非製造業の販売価格BSI

22年7～9月:旅館・ホテルで低下幅が縮小したものの、卸・小売業で低下幅が拡大し、建設業で低下に転じたことから、8.0と4～6月(5.0)より3.0ポイント低下幅が拡大した。

22年10～12月:旅館・ホテルで上昇幅が拡大し、建設業で低下幅が縮小することから、 5.0と3.0ポイント低下幅が縮小する見込み。

原材料仕入価格BSI「(上昇 - 低下) ÷ 2」

22年7～9月:+7.0と4～6月(+10.5)より3.5ポイント上昇幅が縮小した。

22年10～12月:+8.0とほぼ同水準の見込み。

製造業の原材料仕入価格BSI

22年7～9月:金属・機械等で上昇幅が拡大したものの、電気機械で低下に転じ、紙・紙加工品で上昇幅が縮小したことから、+6.0と4～6月(+7.5)より1.5ポイント上昇幅が縮小した。

22年10～12月:食料品や印刷・その他等で上昇幅が拡大するものの、紙・紙加工品で上昇幅が縮小することなどから、+7.0とほぼ同水準の見込み。

非製造業の原材料仕入価格BSI

22年7～9月:旅館・ホテルで上昇幅が拡大したものの、建設業と卸・小売業で上昇幅が縮小したことから、+8.0と4～6月(+14.5)より6.5ポイント上昇幅が縮小した。

22年10～12月:旅館・ホテルで上昇幅が縮小するが、卸売業で上昇幅が拡大することから、+9.5と1.5ポイント上昇幅が拡大する見込み。

図 - 8 販売価格の B S I

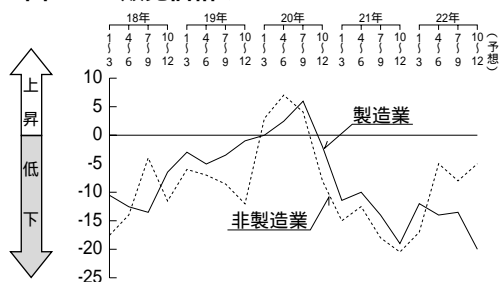
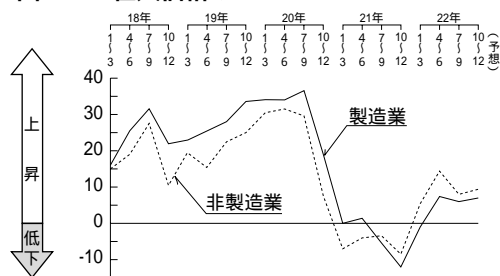


図 - 9 仕入価格の B S I



8 資金繰・借入金残高.....資金繰りは製造業、非製造業とも悪化

製造業の資金繰りBSI「(楽 - 苦しい) ÷ 2」

22年7～9月:食料品と木材・木製品で改善したものの、紙・紙加工品や金属・機械等で悪化したことから、4～6月の+7.5から±0.0に悪化した。

22年10～12月:電気機械や紙・紙加工品、木材・木製品で悪化することから、 3.5に悪化する見込み。

非製造業の資金繰りBSI

22年7～9月:小売業を除くすべての業種で悪化したことから、8.0と4～6月(2.0)より6.0ポイント悪化した。

22年10～12月:卸・小売業と建設業で悪化することから、12.0と4.0ポイント悪化する見込み。

製造業の借入金残高BSI「(減少 - 増加) ÷ 2」

22年7～9月:紙・紙加工品等で減少幅が拡大したことから、+21.0と4～6月(+18.0)より3.0ポイント減少幅が拡大した。

22年10～12月:窯業・土石や印刷・その他等で減少幅が拡大するものの、木材・木製品で増加に転じることなどから、+20.0とほぼ同水準の見込み。

非製造業の借入金残高BSI

22年7～9月:旅館・ホテルで増加に転じ、その他の業種で減少幅が縮小したことから、+5.0と4～6月(+12.0)より7.0ポイント減少幅が縮小した。

22年10～12月:小売業が増加に転じることから、+1.5と3.5ポイント減少幅が縮小する見込み。

図 - 10 資金繰の B S I

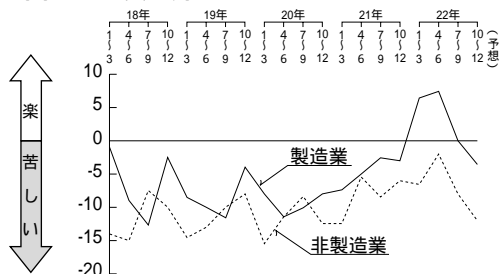
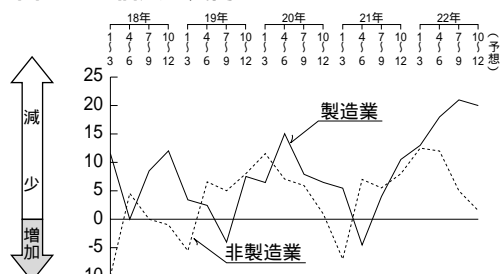


図 - 11 借入金残高の B S I



9 雇 用..... 製造業は過剰感上昇、非製造業は過剰感低下

製造業の常用雇用者BSI(過剰 - 不足)÷2

22年7~9月:繊維・縫製で不足感に転じたものの、金属・機械や窯業・土石等で過剰感が上昇したことなどから、+7.5と4~6月(+5.5)よりも2.0ポイント過剰感が上昇した。

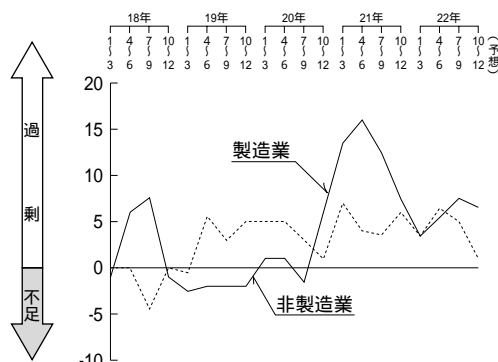
22年10~12月:電気・機械で過剰感が上昇するが、紙・紙加工品で不足感に転じることなどから、+6.5とほぼ同水準の見込み。

非製造業の常用雇用者BSI

22年7~9月:卸売業で過剰感が上昇したが、運輸業で不足感に転じ、建設業等で過剰感が低下したことなどから、+5.0と4~6月(+6.5)よりも1.5ポイント過剰感が低下した。

22年10~12月:建設業と卸売業で過剰感が低下することから、+1.0と4.0ポイント過剰感が低下する見込み。

図 - 12 雇用(常用雇用者)のBSI



10 設備投資..... 製造業、非製造業とも微増 補修・更新が主

22年7~9月:前年同期実績(31%)を2ポイント上回る、回答企業の33%が設備投資を実施。

22年10~12月:前年同期実績(31%)を10ポイント上回る、回答企業の41%が設備投資を計画。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績:単位%

	22年4~6月 実績	22年7~9月 実績	22年10~12月 計画
全産業	40 (28)	33 (31)	41 (31)
製造業	51 (36)	43 (40)	49 (34)
非製造業	27 (19)	21 (20)	31 (27)
建設業	11 (13)	0 (0)	10 (0)
卸売業	18 (5)	19 (13)	13 (17)
小売業	33 (50)	25 (40)	63 (50)
運輸業	50 (25)	0 (0)	67 (60)
旅館・ホテル	5 (25)	80 (60)	60 (43)
食料品	58 (50)	56 (45)	44 (45)
繊維・縫製	0 (0)	0 (0)	0 (50)
木材・木製品	0 (0)	0 (33)	50 (0)
紙・紙加工品	50 (50)	33 (25)	33 (17)
窯業・土石	20 (0)	0 (25)	20 (0)
金属・機械	75 (36)	70 (50)	82 (36)
電気機械	57 (54)	50 (54)	58 (53)
印刷・その他	33 (17)	43 (0)	43 (14)

製造業	22年7~9月 実施割合	木材・木製品や窯業・土石等で低下したが、印刷・その他や金属・機械等で上昇したことから、43%と前年実績(40%)を3ポイント上回った。
	投資目的	1 補修・更新 61% (前年同期 65%) 2 合理化・省力化 39% (同 35%) 3 増産・能力増強 13% (同 26%) 3 新製品の生産 13% (同 9%)
非製造業	22年10~12月 計画割合	繊維・縫製と食料品で低下するが、その他の業種で上昇することから、49%と前年同期実績(34%)を15ポイント上回る見込み。
	投資目的	1 補修・更新 43% (前年同期 65%) 2 合理化・省力化 36% (同 35%) 3 新製品の生産 32% (同 10%) 4 増産・能力増強 18% (同 30%)
製造業	22年7~9月 実施割合	小売業で低下したが、旅館・ホテルと卸売業で上昇したことから、21%と前年実績(20%)を1ポイント上回った。
	投資目的	1 補修・更新 100% (前年同期 78%) 2 販売力の増強 11% (同 33%) 他の目的で投資を実施した企業なし
非製造業	22年10~12月 計画割合	卸売業で低下するが、その他の業種で上昇することから、31%と前年実績(27%)を4ポイント上回る見込み。
	投資目的	1 補修・更新 75% (前年同期 92%) 2 販売力の増強 33% (同 31%) 他の目的で投資を計画している企業なし

注:投資目的は複数回答、構成比。建設業は製造業に含む。

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

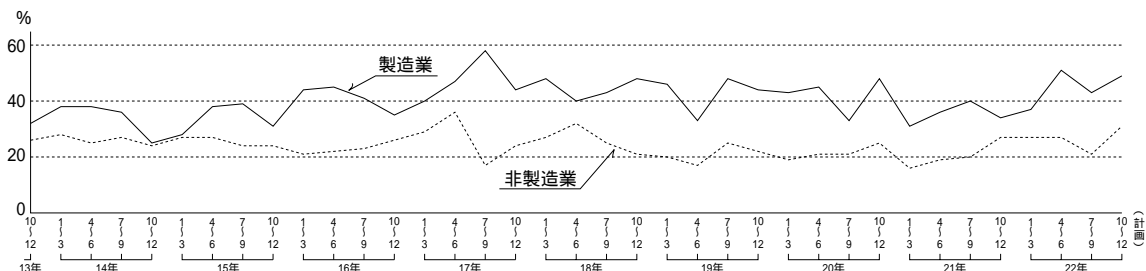
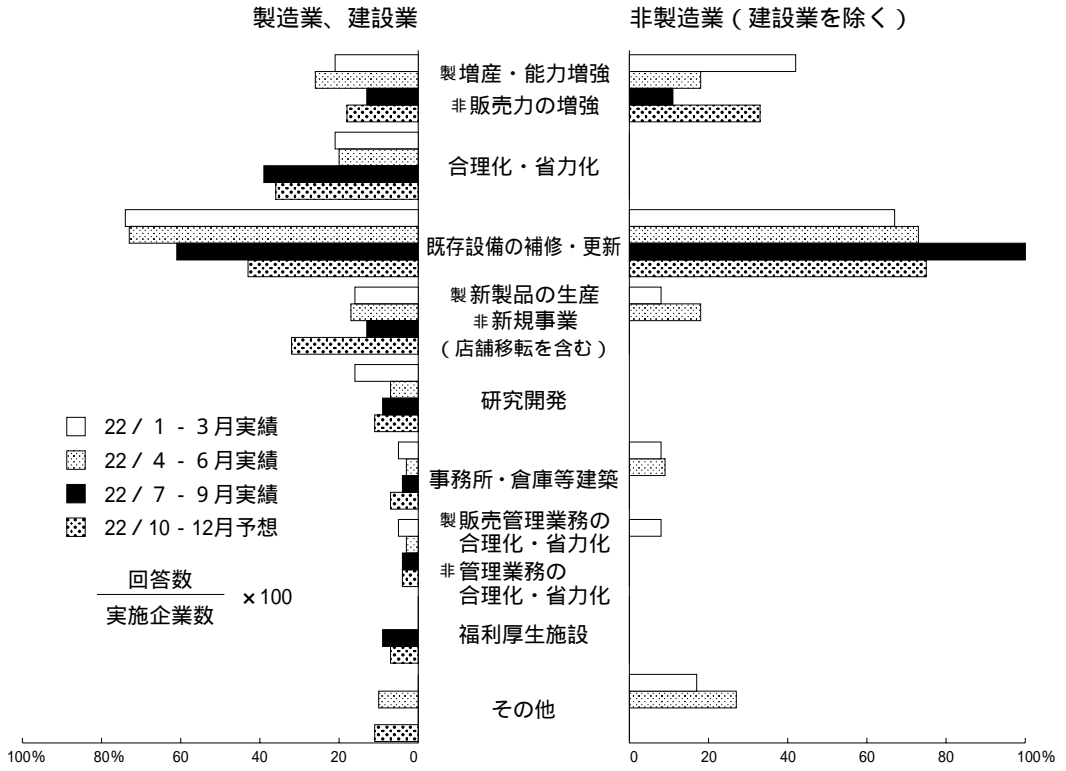


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点……「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」、「過当競争」が上位

平成22年7～9月：経営上の問題点（大きいものから2項目選択）の上位項目（全企業）は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の52%と最も多く、次いで「先行き

見通し難」が30%、「販売価格の低下」が24%、「仕入れ価格の上昇」と「人件費の増加」がともに11%となった。
平成22年10～12月：上位項目は7～9月と同様の見込み。

（単位：％）

	問題点	22年		
		4～6月	7～9月	10～12月 予想
全産業	1 売上・受注の減少	50	52	54
	2 先行き見通し難	44	30	36
	3 過当競争	27	26	27
	4 販売価格の低下	20	24	20
	5 仕入れ価格の上昇	12	11	11
製造業	1 売上・受注の減少	44	48	50
	2 先行き見通し難	51	32	39
	3 販売価格の低下	22	30	27
	4 過当競争	18	18	23
	5 人件費の増加	7	16	11
非製造業	1 売上・受注の減少	59	57	60
	2 過当競争	37	36	31
	3 先行き見通し難	35	26	31
	4 販売価格の低下	17	17	12
	5 仕入れ価格の上昇	4	12	10

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

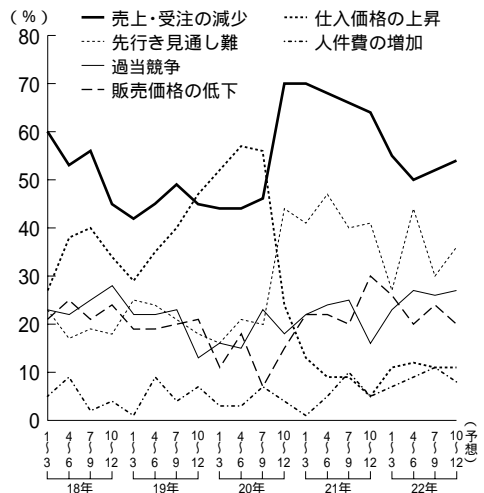


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	22年4～6月実績				22年7～9月実績				22年10～12月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		38	30	32	3.0	36	27	37	0.5	24	41	35	5.5
食料品		42	8	50	4.0	33	11	56	11.5	44	45	11	16.5
繊維・縫製		0	0	100	50.0	0	33	67	33.5	33	34	33	0.0
木材・木製品		0	33	67	33.5	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
紙・紙加工品		25	50	25	0.0	33	34	33	0.0	17	33	50	16.5
窯業・土石		40	40	20	10.0	20	0	80	30.0	0	20	80	40.0
金属・機械		75	8	17	29.0	83	9	8	37.5	42	25	33	4.5
電気機械		86	7	7	39.5	64	9	27	18.5	33	34	33	0.0
印刷・その他		33	34	33	0.0	57	14	29	14.0	29	71	0	14.5
製造業		54	18	28	13.0	49	15	36	6.5	30	38	32	1.0
建設業		22	45	33	5.5	20	50	30	5.0	20	60	20	0.0
卸売業		24	47	29	2.5	13	43	44	15.5	0	56	44	22.0
小売業		11	45	44	16.5	25	37	38	6.5	29	14	57	14.0
運輸業		0	75	25	12.5	0	33	67	33.5	0	33	67	33.5
旅館・ホテル		17	33	50	16.5	40	40	20	10.0	40	40	20	10.0
非製造業		18	46	36	9.0	19	43	38	9.5	15	46	39	12.0

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	22年4～6月実績				22年7～9月実績				22年10～12月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		45	22	33	6.0	42	24	34	4.0	31	35	34	1.5
食料品		42	25	33	4.5	22	0	78	28.0	44	45	11	16.5
繊維・縫製		0	0	100	50.0	0	33	67	33.5	33	34	33	0.0
木材・木製品		0	0	100	50.0	0	50	50	25.0	50	0	50	0.0
紙・紙加工品		50	25	25	12.5	50	17	33	8.5	33	17	50	8.5
窯業・土石		40	40	20	10.0	20	0	80	30.0	20	20	60	20.0
金属・機械		75	8	17	29.0	83	9	8	37.5	42	16	42	0.0
電気機械		86	7	7	39.5	67	25	8	29.5	42	33	25	8.5
印刷・その他		33	34	33	0.0	43	43	14	14.5	14	72	14	0.0
製造業		56	18	26	15.0	48	18	34	7.0	36	32	32	2.0
建設業		22	22	56	17.0	20	60	20	0.0	30	40	30	0.0
卸売業		29	36	35	3.0	38	18	44	3.0	7	46	47	20.0
小売業		63	12	25	19.0	38	37	25	6.5	25	37	38	6.5
運輸業		0	50	50	25.0	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
旅館・ホテル		17	33	50	16.5	40	20	40	0.0	60	20	20	20.0
非製造業		29	30	41	6.0	33	34	33	0.0	24	39	37	6.5

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	22年4～6月実績				22年7～9月実績				22年10～12月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		36	23	41	2.5	36	22	42	3.0	26	36	38	6.0
食料品		33	25	42	4.5	44	0	56	6.0	44	45	11	16.5
繊維・縫製		0	0	100	50.0	0	67	33	16.5	33	34	33	0.0
木材・木製品		0	0	100	50.0	0	0	100	50.0	50	0	50	0.0
紙・紙加工品		33	0	67	17.0	50	17	33	8.5	17	33	50	16.5
窯業・土石		40	20	40	0.0	0	20	80	40.0	0	20	80	40.0
金属・機械		58	25	17	20.5	75	8	17	29.0	50	17	33	8.5
電気機械		79	7	14	32.5	58	9	33	12.5	33	34	33	0.0
印刷・その他		33	34	33	0.0	71	0	29	21.0	57	29	14	21.5
製造業		48	18	34	7.0	50	11	39	5.5	38	28	34	2.0
建設業		22	22	56	17.0	10	60	30	10.0	20	40	40	10.0
卸売業		25	31	44	9.5	19	25	56	18.5	0	44	56	28.0
小売業		11	45	44	16.5	13	37	50	18.5	0	62	38	19.0
運輸業		0	25	75	37.5	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
旅館・ホテル		33	17	50	8.5	20	40	40	10.0	20	60	20	0.0
非製造業		20	30	50	15.0	17	38	45	14.0	10	47	43	16.5

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	22年4～6月実績				22年7～9月実績				22年10～12月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		6	67	27	10.5	8	62	30	11.0	7	58	35	14.0
食料品		0	67	33	16.5	0	89	11	5.5	0	89	11	5.5
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
木材・木製品		0	67	33	16.5	0	50	50	25.0	0	0	100	50.0
紙・紙加工品		0	100	0	0.0	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
窯業・土石		0	80	20	10.0	0	60	40	20.0	0	60	40	20.0
金属・機械		0	36	64	32.0	9	55	36	13.5	0	36	64	32.0
電気機械		7	64	29	11.0	8	59	33	12.5	8	42	50	21.0
印刷・その他		0	100	0	0.0	0	71	29	14.5	0	71	29	14.5
製造業		2	68	30	14.0	4	65	31	13.5	2	56	42	20.0
建設業		17	66	17	0.0	13	62	25	6.0	13	74	13	0.0
卸売業		12	69	19	3.5	13	60	27	7.0	13	60	27	7.0
小売業		22	45	33	5.5	13	37	50	18.5	13	37	50	18.5
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	67	33	16.5	25	50	25	0.0	25	75	0	12.5
非製造業		12	66	22	5.0	14	56	30	8.0	14	62	24	5.0

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	22年4～6月実績				22年7～9月実績				22年10～12月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		28	65	7	10.5	23	68	9	7.0	24	68	8	8.0
製造業	食料品	17	66	17	0.0	22	67	11	5.5	33	56	11	11.0
	繊維・縫製	0	100	0	0.0	33	67	0	16.5	33	67	0	16.5
	木材・木製品	33	34	33	0.0	0	100	0	0.0	0	50	50	25.0
	紙・紙加工品	50	50	0	25.0	17	83	0	8.5	0	100	0	0.0
	窯業・土石	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	金属・機械	33	42	25	4.0	42	58	0	21.0	50	50	0	25.0
	電気機械	36	64	0	18.0	8	67	25	8.5	8	67	25	8.5
	印刷・その他	0	100	0	0.0	29	57	14	7.5	29	71	0	14.5
製造業		25	65	10	7.5	21	70	9	6.0	23	68	9	7.0
非製造業	建設業	50	50	0	25.0	12	88	0	6.0	12	88	0	6.0
	卸売業	31	69	0	15.5	25	62	13	6.0	31	63	6	12.5
	小売業	22	67	11	5.5	14	72	14	0.0	14	72	14	0.0
	運輸業	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0
	旅館・ホテル	20	80	0	10.0	50	50	0	25.0	25	75	0	12.5
非製造業		32	65	3	14.5	24	68	8	8.0	24	71	5	9.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	18年				19年				20年				21年				22年			
																					予想
製造業	1 売上・受注の減少	55	38	52	36	29	37	37	35	39	34	43	68	70	71	61	58	56	44	48	50
	2 先行き見通し難	22	20	19	20	24	25	23	20	11	25	23	48	50	56	44	45	38	51	32	39
	3 販売価格の低下	22	22	23	20	20	18	17	24	11	21	7	11	22	15	16	24	20	22	30	27
	4 過当競争	21	12	15	20	16	14	17	8	7	8	13	9	11	8	25	8	20	18	18	23
	5 人件費の増加	7	13	5	7	2	11	8	10	4	4	9	5	2	3	7	6	5	7	16	11
	6 仕入価格の上昇	33	50	48	42	35	46	50	55	66	60	68	32	17	12	12	10	11	18	11	13
	6 諸経費の増加	16	25	11	12	18	18	21	20	14	26	16	4	4	5	12	10	9	16	11	9
	8 為替相場の変動	3	3	2	0	4	4	6	4	5	2	5	2	2	3	4	8	4	7	5	7
非製造業	1 売上・受注の減少	65	69	62	54	53	53	60	55	49	55	50	73	70	63	71	72	54	59	57	60
	2 過当競争	25	33	36	37	28	31	28	18	27	22	35	27	36	42	2	26	26	37	36	31
	3 先行き見通し難	24	14	18	16	26	24	18	16	22	16	17	39	30	37	36	36	13	35	26	31
	4 販売価格の低下	20	29	20	28	19	20	22	18	12	14	6	20	23	29	24	38	33	17	17	12
	5 仕入価格の上昇	20	26	31	25	24	24	32	39	37	53	42	16	9	6	4	0	11	4	12	10
	6 資金繰り難	14	12	13	9	14	9	10	16	16	8	15	14	16	2	11	12	7	0	7	14
	6 労働力不足	2	3	4	2	5	4	2	4	4	2	2	2	2	0	0	2	2	4	7	10
	8 人件費の増加	2	5	2	2	0	7	0	4	2	2	4	2	0	6	13	4	9	11	5	5

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

とりぎん

法人インターネットバンキング

～インターネットで経理業務のスピードアップ!～

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

もちろん専用ソフトは必要ありません。

低コストで経理事務がスピーディに行えます。



料金等払込みサービス
「Pay-easy(ペイジー)」対応

税金等の各種料金をインターネットバンキングで
お支払いいただけます。(取扱収納機関 順次拡大)

サービスメニュー

Internet Banking

サービス		フルWeb	エコノミーWeb
照会・振込サービス	残高照会	○	○
	入出金明細照会	○	○
	振込・振替(当日扱い)	○	○
	振込・振替(予約扱い)	○	○
料金等払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」	各種料金等払込み	○	○
一括データ伝送サービス	総合振込	○	—
	給与振込	○	—
	賞与振込	○	—
	Net集金(口座振替代金回収)	○	—
	地方納税付	○	—
外為Webサービス	外国送金受付サービス	○	○
	輸入信用状受付サービス	○	○

月額基本手数料無料キャンペーン実施中! 期間/平成22年10月15日(金)～平成23年3月31日(木)

サービス基本手数料【月額】

Internet Banking

	月額基本手数料(消費税込)
フルWeb版	3,150円
エコノミーWeb版	1,050円
フルWeb版+外為Webサービス	4,200円
エコノミーWeb版+外為Webサービス	2,100円

サービスに関するお問い合わせ、お申込みは

<とりぎん>ビジネスWebサポートセンター



0120-86-4513

受付時間 平日/午前9時～午後7時 ※ただし銀行の休業日は除きます

TOTTORI BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

平成22年11月10日現在

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています